

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**

ロータリーを高めよ  
思いを尽くし 热意を尽くし

HONOR ROTARY  
WITH FAITH AND ENTHUSIASM



PolioPlus



●次回卓話予定者

池田仁志 会員 (8月31日)

ガバナー公式訪問日  
会員増強拡大月間

1990.8.24. (金) 第140回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング「高めよロータリー」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間・会員紹介
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 今林ガバナードレス
9. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-02 佐土原町大字下田島9883番地1  
TEL 0985-73-0015

会長 佐野 保

副会長 神宮寺 利夫

幹事 鈴木 正敏

会計 浜田 松太郎

会報責任者 垂水 敏雄

### 第139回例会記録

(平成2.8.17)

会長より

佐野保

前回のクラブ協議会では、皆さん遅くまで熱心にご協議をいただき、有難うございました。

ガバナー公式訪問は、地区ガバナーが年1回地区内の各RCを公式に訪問することをいいます。各クラブはその現況を報告し、ガバナーはこれに対して適切な指示を与える、ロータリーの進展に寄与するための訪問です。

次回の8月24日には、指宿RCの今林ガバナーと西都RCの園師中部分区代理が公式訪問にむかいでになりますので、よろしくお願ひします。なお、先日後藤町長にお会いして佐土原RCについて説明し、地域社会への奉仕に対する当クラブの考え方への理解を深めていただきました。8月24日には、ガバナーと分区代理の希望もあり、一緒に表敬訪問をする予定です。

幹事報告

鈴木正敏

1.小林RCから、8月29日の例会は19時から本坊醸造小林工場で開催との変更通知。

2.来年度G.S.E.の参加申請があった場合は、各RCとも、その受けに同意し、支持するようお願いしたい、とガバナーより依頼。

3.財団法人宮崎県国際交流協会では、賛助会員を募集しています。個人加入は年会費2千円、団体加入は年会費1万円です。

出席小委員会より 委員長 神宮寺利夫  
◎次回の例会及びクラブ・アッセンブリーには必ず全員ご出席してください。

社会奉仕委員会より 委員長 猿渡篤彦  
社団法人「日本の松の緑を守る会」理事長の三成利男氏（大阪南RC）から、松喰い虫防除対策費として全国のRC会員1人千円の献出をお願いしたい、との要請がかけています。

親睦小委員会より 委員長 斎藤数馬

藤堂孝一会员の歓迎会は、9月20日頃に予定されている観月会と兼ねて行いたいと思います。それまでに、できるだけ新会员の勧誘増員に努力しましょう。

### 会員卓話 今村博典会員

大学時代に私は生体高分子科学を専攻した。

ヒトの特徴や他の生物との相違などを基礎的に研究し、医学・衛生学に少しでも寄与したいと考えたからである。生物の生態を研究するにつれ、生物が自然との調和を計りながら、そして自然界を利用して生きている姿に改めて考えさせられた。例えば、渡り鳥が正確に目的地に到達できるのは、地球の地図の力を借りているからである。鳥の産卵は日照時間が12.4秒違うてもできないし、アオウミガメは日没7分前に産卵（理由は未解明）する。このように、生物は自然界と極めて緻密な関係を保っている。

ところで、人間は地球上で最も優位な生物であると自認している。花は子孫繁栄のために咲くのであるが、人間は、自分たちを楽しませてくれるために咲くとしか思わない。イソギンチャクがきれいな触手をひらひらと動かしているのも、餌を獲るための懸命な努力であるが、人間は観賞の対象としか見えない。

人間は頭脳と言葉で生きているといわれるけれども、「生きる」とはどういうことなのかをもっと人間以外の生物の生き方から学ばなければならぬ。人間優位から脱皮し、自然界や社会と調和して生きていこうを考え直さなければいけない。ロータリーは奉仕集団と解される。

個々のロータリアンが、すべての生物の命の尊さを知り、自然環境を大切にし、社会と協調して生きていこうが「奉仕」の根本である。

第139回例会 8月17日（金）

会員数	17名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	13名
ホーム出席率	76.47%
マークアップ者数	1名
修正出席率	82.35%
欠席者名	岩切・郡司・蛇原
マークアップ状況	児玉（宮崎北RC）